

福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和3年12月23日 第10号

甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○今年一年、お世話になりました ～よいお年をお迎えください～

12月も終盤を迎えて県北部では雪の便りが届き始め、寒さが一層身に沁みる季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

近隣の地域では、感染症の拡大はだいぶ収まってきましたが、県全体を見ると新規感染が増えている地域もあり、まだ気の抜けない状態が続いています。年末年始も予防対策をしっかりとって、家族で楽しい冬休みをお過ごしください。

2学期を振り返ると、子どもたちは1つ1つの行事を経験することで、身も心も成長することができました。大きな怪我も事故もなく、元気に学校生活を送れたことを大変嬉しく思います。

さて、明日から冬休みです。本日の終業式で、感染症には十分に気をつけることと、1年の目標を立てることの話をしました。親子で一年の目標を話し合って立てて、その達成に向けてお子さんを励ましていただけたらと思います。

1月7日の3学期始業式で、子どもたち全員の元気な姿に会えるのを楽しみにしています。

○甘楽町いじめ防止子ども会議 ～ネット社会の中で、よりよく生きるために～

町の小中学校4校の児童会・生徒会本部役員が新屋小学校の体育館に集まり、いじめ防止子ども会議を開催しました。テーマは「互いに支え合う人間関係をつくるために私たちにできること」でした。本校からは6年生4名が参加しました。また、各学校の4年生以上の児童・生徒は、オンラインで会議の様子を視聴しました。

前半は、各学校のいじめ防止の取組の発表がありました。本校からは、通年を通じた活動として、縦割り班での清掃や遊び、児童会本部の挨拶運動やエコキャップ回収について説明しました。また、なかよし旬間での活動として「なかよし集会・読み聞かせ・話し合い・なかよしの花」について説明しました。

後半は、4校の児童・生徒が交ざって4つの班に分かれて話し合いを行い、ネットいじめを防ぐための標語を作りました。甘楽中学校の生徒が中心となり、小学生の意見も引き出しながら話し合いをまとめ、良い標語ができました。



○日本で最初の学校給食 ～高い栄養価や地産地消は、今も受け継がれています～

12月7日は、甘楽町学校給食の日です。この日にちなみ、今月の全校朝礼のテーマは「日本で最初の学校給食物語」でした。

福島小は、日本で一番最初に栄養バランスを考えた学校給食を全校児童に出した学校です。今から89年前の昭和7年（1932年）12月7日から学校給食が始まりました。食べるものが少なかった当時、給食によって子どもたちの身体は丈夫になり、病気にかかりにくくなりました。これを記念して、福島小の校庭の南側には「学校給食の碑」が建っています。

これは福島小にとって、とても誇らしいことです。感謝の気持ちを持って、毎日の給食をいただきましょう。

